

●●● 建物概要 ●●●



平成14年 3月竣工
 平成14年10月開館
 総床面積 約8,600平方メートル
 地上4階, 地下2階

●●● 沿革 ●●●

- 昭和24(1949)年 第一高等学校・東京高等学校が東京大学に包摂され東京大学教養学部となる
- 昭和44(1969)年 東京大学教養学部図書館本館竣工
- 昭和61(1986)年 図書館業務電算化開始
- 平成 8 (1996)年 新図書館構想決定
- 平成14(2002)年 教養学部図書館, 8号館図書室及び同分室の資料を統合し, 駒場図書館開館
- 平成16(2004)年 東京大学附属図書館の駒場地区拠点図書館となる
- 平成19(2007)年 1階ロビーにて企画展示を開始
- 平成20(2008)年 駒場図書館デジタル展示の第1弾として, スタニスラス・プチ『産業実務家』を公開
- 平成22(2010)年 GENKI BOOKS コーナーを設置し, 男女共同参画に関する図書を提供
- 平成26(2014)年 1階ロビーの展示スペースを学生・教職員に提供開始
- 平成27(2015)年 アジア経済研究所図書館(千葉市)と相互利用に関する覚書を締結

●●● 案内図 ●●●



最寄り駅:京王井の頭線 駒場東大前駅



東京大学 駒場図書館

Komaba Library, The University of Tokyo

東京大学総合文化研究科・教養学部
 The University of Tokyo, Komaba
 Graduate School of Arts and Sciences



東京大学駒場図書館

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 TEL.03-5454-6101
 ホームページ <http://lib.c.u-tokyo.ac.jp/> ツイッター @UTokyoKomabaLib

新入生から研究者まで——

駒場図書館は駒場キャンパスでの学習研究活動をサポートします

駒場図書館は、本郷地区の総合図書館、柏地区の柏図書館と並び、東京大学附属図書館の駒場地区拠点図書館です。

駒場図書館は約64万冊の資料を所蔵しています。館内には、無線LAN環境を整備した閲覧席や、より静かな閲覧環境を求める方のための席、グループ学習に利用いただける部屋などさまざまなニーズに合わせた約1,100席を用意しています。

前期課程学生の学習支援をはじめ、全学の学生・教職員へ図書館サービスを展開すると共に、総合文化研究科の教育・研究支援を担う駒場図書館は、利用される全ての方に満足いただけるよう、資料の充実、サービスの拡充、施設の整備に努めています。

サービス概要

● 開館時間

	平日	土・日・祝日
授業期間	8:30~22:00 (祝日授業日も同様)	9:00~19:00
休業期間 (8月~9月中旬, 2月上~中旬)	8:30~20:00	※試験期は平日と 同時刻まで開館
休業期間 (2月下旬~3月)	8:30~17:00	休館

*東京大学に所属しない一般利用者の利用時間は、平日9:00~17:00(祝日授業日を除く)

● サービス統計 (平成27年度)

開館日数	322日
入館者数	約680,000人
貸出冊数	約175,000冊
講習会・ガイダンス等実施	約40回
講習会・ガイダンス等参加	約1,800名

● 展示

- ・「越境するヒロシマ—ロベルト・ユンクと原爆の記憶」関連資料展(平成26年10月)
 - ・蝶と昆虫少年(平成26年11月)
 - ・狩野亨吉が一高生に遺した図書たち(平成27年10月)
- ※他に、学生・教職員による企画展示を随時開催

総合文化研究科・教養学部所蔵の多彩な資料



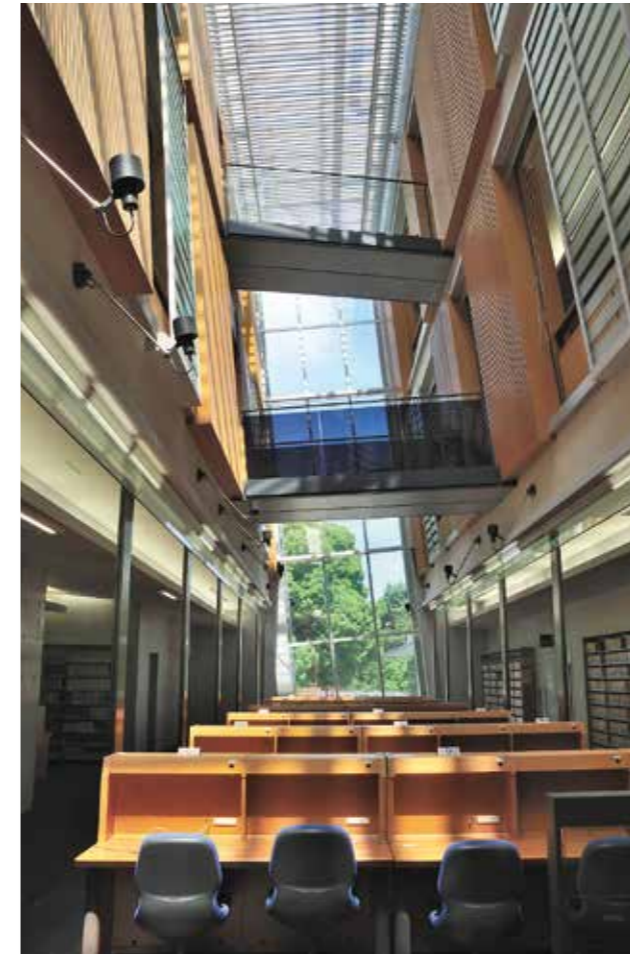
客車の図 スタニスラス・プチ『産業実務家』より
<http://gazo.di.itc.u-tokyo.ac.jp/petit/>

冊子体の図書・雑誌や、電子ブック・電子ジャーナル以外にも特色ある資料を所蔵しており、展覧会で展示されたり、出版物に掲載されたりしています。

- 平成27年度の主な掲載・放送等許可資料
- ・筑後掾肖像(竹本義太夫肖像)[木谷文庫]
 - ・明治維新当時諸藩艦船図[大日本海志編纂資料]
 - ・九鬼公釜山海船柵之図[大日本海志編纂資料]



2階南側閲覧席から矢内原公園を望む



東西両壁面・天井を覆うガラス窓・吹き抜けにより自然光が射し込む



1階 GENKI BOOKS コーナー
男女共同参画関連の図書を配置したコーナー



地下1階閲覧席
地下は研究用図書を配置している



1階ロビーの絵画
日高理恵子『樹の空間からV』1998年[2点組, 各220.0×360.0]